

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公開日: 令和2年1月10日

公表: 令和2年1月27日

事業所名 りはくる

		チェック項目	はい	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		作業療法士、言語聴覚士、保育士、看護師、社会福祉士など専門職が配置されています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年一回行っています。保護者からの意見を参考にし、玄関のガラス窓に目隠しテープを貼りました。靴箱の名前などが外から見えないように工夫しました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各専門職が施設内、施設外の研修を受けています。旅費や研修費の補助制度があります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントは保護者からしっかりと時間をかけて行っています。その際サポートブックがある場合は提出して頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		他職種チームがそれぞれの専門性を活かした活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月、「デイ会議」で活動プログラムについて検討しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休みは活動時間が長いので外出計画を立て、日頃の療育の成果を発揮できるような課題に取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		子供の発達状態や特性に合った活動内容を展開しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日、朝礼でその日の活動内容やプログラムを職員全員で共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援に携わった職員が支援の記録を書きます。その後、支援を振り返りながら気付いた点を話し合います。支援が困難な場合はその都度ケーススタディに上げて職員で話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録と1か月のまとめの記録をしています。子どもの変化や成長を確認し支援の方法を見直しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		子どもの成長や状態によってモニタリングを行い計画を見直しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		職種に関係なく子どもの状況が詳しく分かっている職員や担当が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	主治医との連携は今後の課題です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学前に担当者会議や見学を行い支援者同士が連携できる体制を取っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		相談支援員を始め、子どもが通っている園や市役所の発達支援係と連携しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	今後の課題になります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今後は保護者活動や連携の強化に取り組んでいかなければならないと感じています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報は発行していないがホームページで活動概要や行事予定などの発信をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		契約時にホームページなどに子どもの写真を載せるか否かの同意書などを頂いています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域との関わりは少ないです。今後の課題になります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回は避難訓練(地震or火事)を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止のため施設内研修や職員全員にチェックリストを行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束のための説明をし、保護者から同意書を頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎週月曜日に朝礼でヒヤリハットの報告をしています。